

JSR 次世代育成支援対策行動計画（第9期目）

仕事と育児を両立させることができる働きやすい職場環境を整備し、当社で働くすべての従業員がその能力を十分に発揮できる風土を醸成するため、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間 令和5年4月1日～令和8年3月31日まで

2. 目標と取組内容

目標1：計画期間中の男性従業員の育児休業取得率を80%とし、平均取得日数20日以上を達成する。

<取組み内容>

①男性の育休取得に関する意識啓発：

男性が育児に取り組む意義の理解・浸透、性別役割分担意識の払拭のための研修などを実施する。

②製造部門での平均取得日数の増加：

相対的に平均取得日数の少ない製造部門での、取得日数増加施策を検討し実施する。

③育休に関するコンテンツの充実化：

社内DE&Iポータルサイトにて、両立支援制度・サービスについて改めて周知し、育休を取得した従業員（特に男性）の事例紹介を増やすなど、育児休業に関するコンテンツを充実させる。

目標2：計画期間中の従業員の年次有給休暇の取得率80%以上を維持する。

<取組み内容>

①休暇制度の再周知：

全社的により制度の浸透度を上げるため、時間単位年休など細かな休暇制度を改めて周知し、取得状況の月次報告とともに取得促進を行う。

②休暇を取りやすい風土づくり：

年休や他の休暇を必要時に取得しやすい風土を醸成するために、ワークスタイルイノベーションの取組みを通じて、各職場に適する多様で柔軟な働き方を継続検討・実行する。

以上